

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム高松

## 目標達成計画

作成日: 平成 28 年 9 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	(3)	毎年、課題と感じながら、なかなか運営推進会議を定着出来ないでいる。開催の呼びかけ、終わった後の報告が十分になされていないため、実施出来ていても評価されにくい面もある。長い間継続している地域交流カフェの時間を中心にして定例化したい。	1. 出席者の出席依頼を積極的にしていく。特に地域包括支援センターへの依頼を継続していくこと、会議の議題や内容をはっきりとしていくこと 2. 会議を実施した場合には、議事録を作成して文書で残していく。	1. 担当を決めながら、確実に実施し、計画性のある運営推進会議を開いていく。 2. 年間4回の開催に向けて、地域と連携していける活動を考えていく。 3. 実施したことは文書に残して、評価する。 6ヶ月
2	(16)	入居者の状況が変化し、元気な方が増えている。あまり外へ出たがらない方が多いため、居室、ホーム内での生活になりがちである。	誕生日の、お楽しみ外出や、外食、希望を叶えるなど、個々の要望に沿った内容で楽しい時間を提供する。年に1度くらいは、みんなで外出したいと思うが、なかなか難しい。	月ごとの取り組みについては、勤務者や、各担当グループ職員で計画し実施していく。また、全体での外出や外食などについては、経済的な面で難しさはあるが、年に1回の外出を、計画し実行したい。 12ヶ月
3				ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。